

大区画ほ場の均平精度安定のための 基盤管理指標値

福島県農業試験場 種芸部

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

農業土木－農業土木－土壌型
分類コード 12－01－09000000

2 担当者

外川武司 森口康弘

3 要旨

ほ場整備の工事を実施した後の田面は、3年程度経過しないと均平精度が安定しないと言われおり、また、安定する時期は、水田の土壌タイプにより違いがあることも知られている。そこで、福島県における代表的な土壌タイプである灰褐色土壌マンガン型:61型、黒色土壌壤土腐植型:72型、黄褐色土壌強粘土型:81型、礫層土壌粘土型:91型の4タイプを調査し、均平精度の安定する時期の検証を行った。

- (1) 91型は工事実施後経過1年、81型は経過2年、61・72型は経過3年で田面の均平精度が安定し、表土下の基盤も安定することが判明した。
- (2) 均平度が安定した時期の基盤の土壌硬度値は、61・81・91型で0.5MPa、72型で 0.4MPa以上を示しているので、この値を基盤造成時の基盤管理指標値とすることができると考えられた。すなわち、基盤造成時にこの指標値を満たすように工事を行うことにより、工事実施後短期間で均平精度を安定させることが可能となる。

4 その他の資料等

なし